

令和5年度第2回タウンミーティング（学校再編について）

地区名	ご意見	回答
富田	<p>過去の経営改革委員会で耐震基準に満たない小中学校を半分にして、早急に耐震工事をすべきという意見が多かった。新興住宅建設のために廃校など理解できない。2クラスに出来ないため人間関係が固定するというが、そうではなく豊かで安定した子が育っている。富田小学校で複式学級が実現することについては心配ない。子供たちの成長のため小学校存続をお願いしたい。</p>	<p>学校を減らしてバス通学になると経費が増える場合もあります。大切なことは、子どもにとって学ぶために一番ふさわしい環境であることです。大事なことは、子どもファーストで考え、加西市でどういう教育をしていくのかを考えていきます。</p>
	<p>中学校再編の答申で3校を1校にするのではなく、18年後の加西市は中学校1校でいいのであれば、将来を見据え、今を途中段階と捉え既存施設を活用し統合できる校区から進めることも考えてほしい。</p>	<p>—</p>
	<p>子供が増えないのは私たちの子供が市内に住んでいないからであり、それは市内に企業が少なく、市外で勤務しているから。人口を元に戻す取り組みを考えるべきだ。</p>	<p>市内に勤めに来る人が約1万1000人います。その1割でも加西市に住んでもらえるためには、教育の充実が最も重要であり、住宅開発、病院建設も必要となってきます。学校が小規模化になると、保護者は市街の学校に転校させるケースが出てくるため、そうならないために加西市の教育を受けたいと思えるように展開していきます。さまざまな教員がいて、多様な触れ合いのなかで教育することが大切で、これらを踏まえ今後の教育を考えていきたい。</p>
	<p>大きな学校で競争社会のなかで子供を育てた方がいいし、メリットも大きい。それよりも教員の数が必要な問題だ。競争して教師力が育つ。他市の学校で数年勤めるとか、他の学校から良い教員を引き抜くなど考えてほしい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。交流など参考にさせていただきます。</p>

	<p>アンケート結果から、将来の方向性や筋書きはあるか。</p>	<p>タウンミーティングでご意見をいただき、方針をまとめていきたいと考えています。</p> <p>子供が減少する中で、学校の存在をどう考えていくのかを、ご意見をいただきながら考えていきます。加東市の東条学園が5年かかりましたが、長い期間をかける必要もあると思います。保護者からは大きい学校で学ばせたいなどの要望もあり、通学距離が長くなれば通学バスは考えなければならないと思っています。一般的な小中一貫校は9年生の形ですが今は少ない状況です。小野市の河合は小中一貫校になっていますが、場所は離れており連携の形をとっています。どういう形が一番良いのかを考えていきたいと思っています。</p> <p>学校再編は50年に一度の大事業だと思っています。地域が学校を存続させる・守るという強い意思表示があれば、保護者意見を交えて考える必要があります。ただ、子供の数は減っており、地域を発展させることもあわせて考える必要があると考えています。</p>
<p>賀茂</p>	<p>加西市としてどういう子供を育てていくのか。</p>	<p>子供たちに多様な人との関わりを持たせ、温かい関係をつくり、基礎基本を学ばせ生きる力をつけたいと考えています。学校が大きくなっても、少人数で手厚くフォローできる学校にしたいと考えています。</p>
	<p>不登校の問題は減るか。</p>	<p>因果関係があるか判断しかねます。</p> <p>コロナ禍で不登校の形も変わってきており、これまで学校に行かないことが不登校という考え方でしたが、不登校という言葉も変わってきております。今は学校に行かない選択もでており、加西で子育てをしたい人を増やせるよう、学校づくり、地域づくりをしていきたいと考えております。</p>
	<p>0歳児と1歳児を見ると50年後は自治会の維持が非常に困難なように思う。学校再編だけでなく賀茂地区の先を見据えた対応を考えていただきたい。</p>	<p>将来的には、自治会の合併も考えていくようになってくると考えられます。加西市に働きに来ている屋間人口は1万1000人。そのうち1割でも住んでいただければと考えており、令和7年には調整区域を廃止し、そのあたりをきっかけにしながら、地域づくりを進めていきたいと考えていきたい思います。</p>

	アンケートについて、回答率が低い。	学校を通じ、全保護者を対象に資料を配布し、QRコードでの回答としたため、回答しにくい方がいたのかもしれませんが。回答率が低く反省しております。
下里	<p>今まで放置されてきたという印象。早く前に進んでほしいし、統廃合していく必要がある。加東市では小中一貫のモデル校など進んでいるところもある。スクールバスのことや部活動を考えると一貫が良いのではないかと感じている。一貫校について説明いただき、メリット、デメリットについて説明していただきたい。</p>	<p>再編についての方針は1月に方針を示させていただきます。</p> <p>小中一貫校については大きく2つの方法があります。</p> <p>1つ目は、小学校中学校を1つの校舎にまとめる方法で、加東市の東条学園がその例です。加西市も、この方法がシンプルで良い形かと思いますが、問題は少子化が進んでおり、中学校も1クラスの規模になってしまい、9年間全く同じメンバーで過ごすことになる可能性があります。保護者からは、そのような可能性がある以上、賛同しにくいとの意見もあります。</p> <p>2つ目は分離型の一貫校という方法で、小野市の河合小、河合中がその例です。この方法のメリットは小学校では5、6年生がリーダーシップも取れ、先生と子どもの学校間の交流を図り、中1ギャップ、不適応を起こさないよう予防する対応をされています。</p> <p>現時点ではまだ決まっておきませんが、分離型であれば学校の統合が無くても連携を強化することで小中一貫が可能です。小野中学校、小野小学校、小野東小学校で連携型の小中一貫を行っているので、その方法を研究することもできます。</p> <p>再編の上でもっとも大切なのは、子ども達にとって良い学びが何かということです。人数が多いことが良いばかりでは無く、少人数でアットホームな中では安定していたが、人数が多くなることで、クラス替えなどによる軋轢も生じます。しかし、これらは子どもが育っていく中で必要なことでもあります。また、小規模校の課題は教員のマンパワーに限られるところにあります。学校の規模が大きくなったからと、子ども一人一人の指導ができなくなるのでは本末転倒ではありますが、色々な先生がいることで他の先生を見ながら切磋琢磨することで教員のスキルアップを図ることも学校再編の目的の一つであります。</p>
	<p>子どもの数が少ないからを理由とした学校再編ありきではなく、加西市が子どもをどのように教育し、どのように育てようとしているのか、教育方針を示した上で、その目標を達成するために再編の方法を提案するべき。</p>	<p>ご意見の通りです。学校再編を考えるうえで、子どもに接する教員のスキル、質の向上がなければいい教育はできません。加西では多くの学校で各学年1クラスになっており、一人の教員が一つのクラスのみを見ています。しかし、複数クラスではクラス間で先生同士の成長があります。教育の質を上げるには、研修だけではなく、日々の積み重ねで教員が育っていきます。</p> <p>目指す学校の姿は、資料にもありますが、最も大切なのは子どもが行きたい学校にすること、加西で教育を受けたいと思ってもらうことだと考えています。</p>
	<p>アンケートでは北条以外は現状から変更の意見が多いが、個人的には下里の立派な校舎を活かして、現状のまま地域で育てていただきたい。</p> <p>小さい学校で素晴らしい先生に出会い、良かったという話もある。自分で歩いて通い、勉強できることは幸せなことだと思う。</p> <p>不登校はなぜ増加しているのか疑問。</p>	<p>小規模校には小規模校の良さがあり、小規模校のメリットも理解しています。そのような意見を参考にしながら検討していきます。</p> <p>不登校は全国的に増加しており、原因はさまざまであるが、苦しんでいる子がいることに対して、加西市でも校内で過ごしやすい場所を作るなど対応をしています。社会的背景もありますが、少しでも改善していきたいと思えます。</p>

九会	<p>答申では、中学校の再編を行うということだったが、小学校の再編を先にした方がよいのではないか。スクールバス等の具体的なことが示されないと意見もでないのではないか。</p>	<p>今回のタウンミーティングは、保護者や生徒のアンケート結果をお出しし、地域の皆さまの意見を聞く場と考えています。具体的な方針は、1月号の広報でお示しし、1月下旬に予定しております地域説明会において、改めて方針案に対してご意見をいただく場を設けさせていただきます。また、スクールバスについては仮に再編となった場合、必要になってくると考えています。他市の事例も参考にし、検討していきます。</p>
	<p>スクールバスの検討では、地域の公共交通も合わせて検討してほしい。小中一貫校は、どうなのか。また、先生側の思いはどうか。</p>	<p>小中一貫校については、保護者からもご意見をいただいております。併せて検討している状況です。しかしながら、加東市が採用している小中学校の校舎を統合する方法の場合、人口が減少している状況下において、9年間同じクラスメイトで過ごすことにもなりかねませんので、小野市が採用している小中学校の校舎を分ける方法をとるなど、慎重な検討が必要であります。加西市の教育を受けたいので、加西市に住みたいと思わせる学校づくり、また、子どもたちが行きたいと思えるような学校づくりをしていきたいと考えています。そのような魅力ある教育を行っていくためには、教員の資質もあげていく必要があります。もちろん教員は一生懸命に頑張っていますが、教員も学年1クラスとなるとなかなか競い合う相手がいなくて成長していくのが難しいのが現状です。</p>
富合	<p>学校再編のアンケートについては、大変わかりやすくいいと思うが、人口を増やす対策としてはどんな施策をされているのか。具体的に教えていただきたい。</p>	<p>加西の教育を充実させることが、加西に住む大きな動機になります。教育委員会としては、そこを目指します。</p>
	<p>以前、教育方針にSTEAM教育というのがありましたけれども、STEAM教育というのは、今後は行わない、もしくは、その趣旨が変わるといことになるのか。</p>	<p>STEAM教育というのは探究的な学習を中心とした学習です。自分で課題を見つけて、自ら探究的な学びをすることで、子供たちが自分で考えるように思考力を伸ばします。地域、企業等と連携してSTEAM教育及び国際力をつける教育を進めていきます。</p>
	<p>このアンケートを取られたPTA、父兄の方ともしっかりと議論して、本当に今の子育て世代が何をどう考えているのか、今の若い人の意見を汲み取って進めて欲しいと思います。</p>	<p>1月下旬に予定している説明会で再編の方針をお示ししますので、保護者の皆さまにも大勢参加いただき、地域の皆さまと一緒に、意見交換をしながら仕上げていきたいと考えております。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>

日吉	このアンケートを受けて、市としてどういう事を考えているのか。	<p>市としましては、保護者の皆さまへの説明会を経て、このアンケートを実施しました。アンケートの内容を踏まえて、今回のタウンミーティングで地域の皆さま方の感想であったり、意見であったりというものを踏まえて、再編の方向性を見定めたいと考えております。</p> <p>そのため、現時点でどういった再編を行うかというのは、地域の皆さま方の声を伺ってからの所で、ご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>ただ、それが見えない事には、色んな意見を言いづらいという所は重々承知しておりますので、そのタイミングはご説明しました、1月下旬の地区説明会という事でご理解いただきたいと思っております。</p>
	学校再編に関して、一番大事に考えられている事はなにか。	<p>学校とは単に勉強を学ぶことだけでなく、多く先生から多様な学びを受けたり、同級生と切磋琢磨したりし、人間的に成長していく場所でもあります。子どもたちが「ここで学びたい」「学校へ行きたい」と思えるような環境整備が大切です。また、よりよい教育を提供するためには、教員の更なる成長が必要となります。成長に向けては、多くの先生同士で切磋琢磨したほうがよく、現状多くの学校において、1学年1人ずつで担当していることを考えると、決して良い状態にあるとは言えません。これらを踏まえて、学校再編については検討する必要があると考えております。</p>
	子供達の数が、多い方がいいということか。	<p>教育委員会としてもクラスは複数あった方がいいと考えております。文部科学省も小学校の適正規模として、2～3クラスとしております。</p>
	統廃合して新たな学校ができるわけですが、現存している校舎や土地は、どのように活用しようと考えているのか。	<p>市としましては、各種施策を通じ、加西市の魅力を高めていくとともに、教育の力をもって興味を持ってもらえればと考えております。また、1万1000人の方が、市外から市内に勤めにいられておりますので、その1割の方にも定住いただけるよう、住宅地の確保に努めてまいります。</p>
	疑問があって、住宅地に開発して売るといった話だったが、防災上の避難所がどんどん無くなっていく事になると思うがその点はどうか。	<p>避難所としては、自治会の公会堂が理にかなっていると思っております。校舎等はすぐに潰すのではなく再利用しますので、避難所は残ると思っております。</p>
	大規模地震が起こった時に、グラウンドでテントを張って避難生活をしている方々を報道等で見ますが、そういう点から校舎だけでは不十分ではないですか？	<p>今までは身近な公会堂を利用しながら市の中ではやっておりますし、いざという時は広域避難所の利用になると思っております。</p> <p>統合というのは時間がかかりますが、ここ数年の出生数を見ても、その子たちが小学校へ入学するまでには対応していく必要があると思っております。今から始めましても、4～5年かかってしまうと思っております。</p>

宇仁	中学生・高校生の回答率が高いが、それに比べて、保護者の回答率が少し低い状況。小学校区別の宇仁校区では、40%程度と低すぎないか。それだけ感心度が低いのではないか。	校区ごとで関心度に関きがあると感じています。中学校卒業間近の保護者についても、関心度が低くなっているのではないかという要因もあると考えております。
	回答率が低いのは、以前、反対したけれども市が強行して押し進んでいた経緯があり、保護者たちも反対しても無駄だと感じているのではないか。	回答については、自らの地域のためのアンケートですので、きちんと回答いただけたと思います。結論は総合的に判断させていただきますが、保護者や地元のそれぞれの意見も当然参考とさせていただきます。
	若い先生を育てるのは、先輩だけではなく、地域の人も若い先生を育てている。	子どもたちを育てるということは非常に難しいことです。もちろん、地域の方にもご協力いただいていることは理解しておりますが、やはり教員同士で切磋琢磨し、スキルアップを図り子どもたちを育てていくということもご理解いただきたい。
	まちづくり協議会としては、宇仁小学校存続に向け、地域を活性化させるために市と連携をしながら取組を行ってきている。それは学校存続にも繋がることになるからである。そのため、学校はこのままの状態で存続してほしいし地域住民として努力していきたい。 ただ、統合した場合に無理に入学する子供が必要以上に減ってきた場合、保護者も不安に思いながら子供達を通学させなければならない。 そのようなことがないように安心して宇仁地区から少人数になってもしっかりカバーをして保護者の方が通学させられるように行政として責任をもって取り組んでもらいたい。	地域の声として、地域の状況も把握させていただきました。 地域の方が頑張っていたいただいているのは認識しております。皆さまと喧嘩してまで進められないと思っております。保護者の意見を聞かせていただき、案を提示したいと考えています。
保護者、子どもたちのアンケートの結果を踏まえて、施策を立てないといけない。そのことをわかった上で議論していかなければならないと思う。	小規模校の魅力もわかっていただいていると思います。そのような意見も踏まえて、いろいろ検討させていただきます。	
西在田	小学校中学校の再編は同時に行うのか。西在田小はいずれ複式学級になるので、統合の意見が多い。また、スクールバスも必要で、どのあたりに建設されるのかも決まっていないのか。また、統合すれば西在田小学校跡もコミュニティの場にできるのではないか。	アンケート結果をもとに、多くの意見をお伺いした上で、1月に市としての方針を示させていただきます。もし統合することになり、通学距離が遠くなる場合には当然スクールバスは必要と考えています。
在田	小中一貫校についても、考える余地があるというような話だったと思うが、将来を見据えて、例えば、中学校は全部北条中に、小学校は全部北条小にして、併設型の小中一貫校というような構想はあるか。	北条に全てまとめる件については、現実的には難しいと考えております。
	以前、中学校が善防、泉、加西とで3つ一緒になって、農協かフラワーセンターあたりにできるというような話があったが、完全に立ち消えになったのか。	前回の答申がなくなったというよりも、アンケートを取った上で、答申の内容も踏まえて、良い案を考えるということであり、全くなかったというわけではございません。